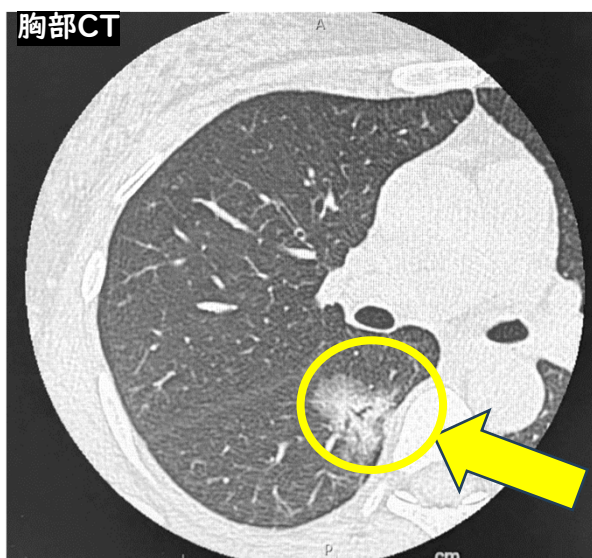


肺がん検診等について

「有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン（2025年度版）」で、**低線量肺がんCT検診**が
重喫煙者への推奨グレード：Aとして推奨されました。

（エビデンスがあり強く勧められる）

- ・ 重喫煙者：喫煙指数（1日平均喫煙本数×喫煙年数）が600以上の者
喫煙中または禁煙15年以内の者が対象
- ・ 対象年齢：50歳～74歳
- ・ 検診間隔：1年に1回が好ましい



ここに肺がんがあります。

※ 胸部X線検査よりも更に詳細な情報が得られます

日本人のがん死亡原因の第1位は肺がん

厚生労働省「2023年人口動態統計」

肺がんは50歳代から増加、進行すると予後が悪いがんです。早期発見・早期治療が大切です。是非、受診してください。

<Q&A>

Q.被ばく量はどのくらいでしょうか？

A. 通常肺がんCT検査の被ばく量は5～10mSvです。低線量肺がんCT検査は1.3mSv程度で通常のCT検査と比べると被ばく量は少ないです。（自然に浴びている放射線は年間2.1mSv程度です。）

Q.CT検査の撮影時間はどのくらいかかりますか？

A.約5秒程度です。お気軽に受診頂けます。

Q.検査を受診できない方はおられますか？

A.心臓ペースメーカーや除細動器、インスリンポンプ及び持続グルコース測定器の装着されている方はご相談ください。

Q. たばこは吸っていませんが、検査を受けても大丈夫でしょうか？

A. 重喫煙者でない方もご希望があれば検査を行うことは可能です。

お問合せ先
公益財団法人鳥取県保健事業団
電話（0857）30-4883
担当：企画調整課